

第17回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム

日時

平成8年8月7日(水) 午後12時45分～18時30分

8日(木) 午前 9時00分～13時05分

場所

星薬科大学・大講堂

東京都品川区荏原 2-4-41

事務局

〒142 東京都品川区荏原 2-4-41

星薬科大学薬理学教室

TEL/FAX 03-5498-5787

実行委員会

代表 亀井淳三(星薬大・医療2研)	小池勝夫(東邦大・薬・薬理)
鈴木 勉(星薬大・薬理)	長瀬 博(東レ・基礎研)
津田 誠(星薬大・薬理)	大澤匡弘(星薬大・医療2研)

世話人代表

鈴木 勉(星薬大・薬理)

世話人

岡 哲雄(東海大・医・薬理)	小栗一太(九州大・薬・衛生)
佐藤公道(京都大・薬・分子作用)	高橋正克(長崎大・薬・薬物)
高柳一成(東邦大・薬・薬理)	鶴見介登(市邨学園短大)
中村秀雄(大日本製薬)	長瀬 博(東レ・基礎研)
野崎正勝(生産開発科学研)	山本博之(和歌山医大・薬理)

第17回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムプログラム

8月7日(水)

12:45 - 12:50

世話人代表挨拶 鈴木 勉 (星薬大・薬理)

12:50 - 13:00

International Narcotic Research Conference (INRC) 報告
植田 弘師 (長崎大・薬・薬物)

主題1：疼痛治療の基礎と臨床

座長 山本 博之 (和歌山医大・薬理)
亀井 淳三 (星薬大・医療薬学第2)

1-1) 13:00 - 13:20

臨床で用いられるカップアゴニストのデルタアゴニスト作用
○松宮 輝彦、岩尾 佳代子、荒井 美治、岡 哲雄 (東海大・医・薬理)

1-2) 13:20 - 13:40

ストレス状況下におけるモルヒネ耐性形成の変容
—不安ならびに疼痛の役割—
○高橋 正克、中尾 薫、A. F. M. M. Rahman、徳山尚吾、金戸 洋
植田弘師 (長崎大・薬・薬物)

1-3) 13:40 - 14:00

疼痛下におけるモルヒネの依存性
○鈴木 勉、岸本 弥生、三澤 美和 (星薬大・薬理)

1-4) 14:00 - 14:20

モルヒネの連投効果に対する当帰芍薬散の抑制作用
○福永 優子、岸岡 史郎、田村晃子、西田 茂、井上 徳浩、山本 博之
(和歌山医大・薬理)

1-5) 14:20 - 14:40

当帰芍薬散を服用中の患者におけるモルヒネによる癌性疼痛のコントロール
○山西 徹治、伊藤 秀一、西岡 新吾、乾 宏行*、湯川 進*、岸岡 史朗**、
山本 博之** (和歌山医大・第2内科、第3内科*、薬理**)

1-6) 14:40 - 15:10

モルヒネによる癌疼痛治療の実際

○小川 節郎 (駿河台日大病院・麻酔科)

1-7) 15:10 - 15:30

メキシレチンの抗侵害作用機序

○亀井 淳三 (星薬大・医療薬学第2)

1-8) 15:30 - 16:00

糖尿病性有痛性神経障害に対する mexiletine の効果

○松岡 健平、鈴木吉彦、渥美義仁 (東京都済生会中央病院・内科)

1-9) 16:00 - 16:30

痛み治療の基礎と臨床

○花岡 一雄 (東大・医・麻酔科)

16:30 - 16:45

休 憩

16:45 - 17:25

特別講演

座長 岡 哲雄 (東海大・医・薬理)

がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用について

藤井 基之 (厚生省薬務局麻薬課)

17:25 - 18:05

招待講演

座長 小栗 一太 (九州大・薬・衛生)

Differential mechanisms of antinociception induced by μ , ϵ and κ opioids.

Prof. Leon F. Tseng (ウイスコンシン医科大学麻酔科)

18:20 - 21:00

懇親会

本学医薬品化学研究所1階ラウンジにて懇親会を行います。

8月8日(木)

主題2：オピオイド受容体機能

座長 高橋 正克 (長崎大・薬・薬物)
中村 秀雄 (大日本製薬)

2-1) 9:00 - 9:20

DAMGOによる μ/κ オピオイド受容体間識別に関する受容体構造
○家永裕賀、南 雅文、勝又清至、関 貴弘、青木康英、片尾謙利、
小野木達弘、佐藤公道 (京都大・薬・分子作用制御)

2-2) 9:20 - 9:40

DAMGOによる μ/δ オピオイド受容体間識別に関する受容体構造
○南 雅文、中川貴之、関 貴弘、小野木達弘、青木康英、片尾謙利、
勝又清至、佐藤公道 (京都大・薬・分子作用制御)

2-3) 9:40 - 10:00

オピオイド受容体脱感作と受容体代謝回転
○成田 年、溝口広一、Leon F. Tseng (Department of Anesthesiology, Medical
College of Wisconsin)

2-4) 10:00 - 10:20

ミューオピオイド受容体に対するアンチセンスオリゴデオキシヌクレオチ
ドの効果
○吉川正信、北村 憲、谷口隆雄、金井昌之、小林智美、横上功一、
岩尾佳代子、岡 哲雄 (東海大・医・薬理)

2-5) 10:20 - 10:40

オピオイド受容体を介した反応におけるイオンチャネルの関与
○溝口広一、成田 年、長瀬 博*、Leon F. Tseng (Department of Anesthesiology,
Medical College of Wisconsin、*東レ・基礎研)

主題3：オピオイド研究の進歩と問題点

座長 野崎 正勝 (生産開発科学研)
長瀬 博 (東レ・基礎研)

3-1) 10:40 - 11:00

κ -オピオイドアゴニストの合理的設計と合成
○長瀬 博、早川 潤、河合孝治、川村邦昭、松浦博敏、田嶋知子、
竹澤優子、遠藤 孝 (東レ・基礎研)

3-2) 11:00 - 11:20

3-Acetoxy-6 β -acetylthio-10-oxo-N-cyclopropylmethyl-dihydronormorphine
(KT-95) の薬理作用について

○細木るみこ、新澤伸一、小池勝夫、鈴木 勉、高柳一成
(東邦大・薬・薬理)

3-3) 11:20 - 11:40

侵害受容閾値低下モデルの下行性痛覚抑制系に関与するオピオイド受容体
-修治附子の抗侵害受容作用機序からの考察-

○後藤和宏、鈴木康之、大宮雄司、野口将道、石毛 敦 (ツムラ・中央研)

3-4) 11:40 - 12:00

侵害刺激抑制効果に対する dermorphin fragment analog の拮抗作用

○結城正幸¹、櫻田 忍²、佐藤卓美³、木皿憲佐¹ (東北薬大・薬理¹、
機能形態²、第二薬剤³)

3-5) 12:00 - 12:20

補体 C3a アゴニストの抗オピオイド作用

○吉川正明、高橋正和、Yunden Jinsmaa、高橋正克*、淵上卓也*、金戸 洋*
(京都大・農・食品工学、*長崎大・薬・薬物)

3-6) 12:20 - 12:40

ガラニン誘発記憶障害に対する κ -オピオイド受容体作動薬の改善作用

○鶴飼 良、三浦正尊、亀山 勉 (名城大・薬・薬品作用)

3-7) 12:40 - 13:00

オピオイド研究/パースペクティブ

○野崎 正勝 (生産開発科学研)

13:00 - 13:05

次期世話人代表挨拶